



かみなりはどのくらいの力があるの

強いかみなりで10億ボルト

かみなりは人がうたれたら、死んでしまうほどの電気をもっています。

強いかみなりでは10億ボルトという高い電圧が発生し、3万アンペアという強い電流が空気中を通っていきます。

かみなりが地上に落ちたときのおよその電気量は、100ワットの電球7000個を8時間つけ続けることができる量だといわれています。

かみなりは3種類

昔からかみなりはこわいものの1つとして、長い間、おそれられてきました。このかみなりは、その発生原因によって3つに分けられます。

熱雷は夏、山の多い地方や内陸で発生します。むし暑く、風があまりないような夏の午後によくおきるのです。

界雷は1年中おきます。寒冷前線が通過するときに発生し、広い範囲に移動してヒョウなどをふらせたりします。

渦雷は、台風や発達した低気圧の中心に近い、上昇気流が強い所でおこります。

(監修 村山貢司)

